

ふれあい

平成30年2月 第380号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広報部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442
 fax 022-364-8453

掲載目次

- 新年を祝う会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 東日本大震災から7年を迎えて・・・・・・ 3
- 山茶花大学新春のつどい・・・・・・・・・・ 3
- ロゴマークについて・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 大代地区公民館職員募集・・・・・・・・・・ 4



新年を祝う会



山茶花大学新春のつどい

新年を祝う会

地域づくり部長 木村 好男

平成30年新年を祝う会が1月13日(土)大代地区コミュニティ推進協議会の地域づくり部が主催し、11時から13時まで小野屋ホテルにて開催致しました。

今回の新年を祝う会は、大代地区コミュニティ推進協議会が大代公民館の運営を始めて4年目を迎え、次回の更新となる大事な時期に、多賀城市長菊地健次郎様のご臨席を賜り開催する事ができました。



初めに主催者を代表して藤原副会長が挨拶を行い、その後、菊地市長様、県議会議員の皆様からご祝辞を頂き、八嶋建設の会長八嶋喬様の乾杯のご発声で祝宴が開催されました。参加者数は、昨年より少ない98名のご出席でしたが、その中には少し若い方々の参加も見られました。



祝宴開始後には余興として 暁流の踊り、カラオケ、最後にお楽しみ抽選会を行い、盛大に終了する事ができました。

余興に参加された方々への参加賞やお楽しみ抽選会での賞品につきましては、会で準備した賞品の他、熱海会長様、JXTG エネルギー(株)様、東北電力(株)様、(株)共和電業様、大代郵便局様、軽食喫茶とんぼ様、だいたいご寿し様、(株)東北ダイケン様、おおしる接骨院様から数多くの賞品を提供して頂き、大変盛り上がり、深く感謝しております。また、多数の企業や団体様からご臨席を頂き、多くのご祝儀を賜りました事、重ねて感謝申し上げます。

今後も継続して開催して参りたいと考えておりますので、多くの方々のご参加と若い方々のご参加をお待ちしております。

東日本大震災から7年を迎えて

大代中区 小野 菊郎

あれから7年が経ちました。

犠牲になられた方々、被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

ご支援を賜りました国内外の皆様には心から感謝と御礼を申し上げます。

被災地では、生活基盤の安定がいまだ定かではない状況が随所に見られ苦悩されているニュースを目に致します。

破壊された生活から自立する事が如何に厳しい事か、地域で多くの方が立ち向かっている現状を見ると心が折れることがあります。

政治に期待するところ大ですが、大災害の被害を復興させるためには、国内の総力を必要とし、知恵を出し合い乗り切ることが求められております。しかし、どこに行政の目を向かせ光を当てさせるか、私たち一人ひとりの声を届けなければ復興は出来ません。一人は万人のために、万人は一人のために立ち上がらなければなりません。日常生活の中で何か一つ万人のために行動を起こしたいと心しております。

被災者の声を後世に語り継ぐべく、千名

を目標に取材中の方が中区に在住されております。津波の恐ろしさを体験して解りました。言葉、写真、活字、記念碑等で子孫に語り残しておかなければなりません。

中区でも地震と津波（1丁目全域 3丁目90%が被災）による被害を受けました。

住宅について現状をまとめてみました。

解体された持家は37棟（倉庫倉）でしたが、平成29年12月現在再建15棟、更地は14ヶ所（5世帯が他地区に移住されております）、貸家（戸建て アパート）解体は20棟あまりでしたが、後にはアパートへ再建されました（20世帯・更地はありません）。

修理家屋は、持家66棟（倉庫倉）、貸家（戸建て アパート）は17棟（61世帯）です。震災後跡地等へ、住宅の戸建が14棟、アパート4棟（40世帯）が造られております。

住民登録されておられる世帯と人口は、平成23年3月現在世帯数は375世帯、人口920名でした。平成29年12月現在世帯数は376世帯、人口は926名と震災前に回復しました。

今後は、更地等に住宅建築が予想され人口の増加も見込まれます。新しく中区にお

住まいを持たれた方との調和のとれた関係が望まれます。

震災の教訓として、共助が自分を救う事に繋がることを一つ学びました。

それを組織化することにより、地域の力となつて、共助の力が発揮できます。

皆様には、中区の一員となられました方々へお声掛けされて、積極的に行事へのご参加をお誘いされますようお願い申し上げます

東北大災害科学国際研究所、今村文彦所長が、「研究成果発表だけの一方通行だけではいけない、社会で活用してもらうことに組織の存在意義がある」といわれております。地域での情報活用は私達住民の行動に係っております。防災訓練、町内会行事等へ積極的に体験参加頂ければ共助の精神が醸成されると考えます。安全安心な街作りに住民が立ち上がられますよう切に期待します。

山茶花大学「新春の集い」

広報部

1月24日（水）に、大代地区公民館会議室において、高齢者事業「山茶花大学新春のつどい」が行なわれました。

多賀城市芸術文化協会の団体をお招きして、日本の伝統芸能を鑑賞する催しを実施し、今回は4つの団体の皆さんが実演を披露くださいました。

最初に、『邦楽サークル「洋」』による琴の演奏が行われ、「千鳥の曲」、「風になつて」「早春賦」などの披露。続いて、『瑞祥流多賀城吟詠舞会』による詩吟で「寒梅」、「松竹梅」など。3つ目の演目は『新日本舞踊 暁流』による日本舞踊で、「二輪草」、「おもいでの仙台」、「花笠音頭」。最後の演目は『日本郷土民謡研究貞山会』による民謡の披露で、「灘の酒造り祝い唄」、「さんさ時雨」、などを鑑賞したのち、受講者も含めてみんなで「花笠音頭」を歌いました。(講座の様子は1ページの写真をご覧ください)

ロゴマークについて

昨年度から募集を行っていたロゴマークについて、当初選考するための応募件数に達していなかったため、選考ができない状況でしたが、今年の9月にご投稿をいただき、6件の募集がありましたので、10月から12月にかけて協議会の会長・副会長・部長・副部长・事務局長による選考委員会を開催し、佐藤聰子さんのマークが選ばれま

した。



色合いや最終的な形も投稿者の承諾をいただき決定しました。今後は、このロゴを、名刺やスタッフのユニフォーム等に印刷して活用していきたいと考えています。正式に活用していくのは、平成30年度から予定しています。

大代地区公民館職員募集

協議会では、大代地区公民館の勤務をしいただける方を募集しています。

募集内容／非常勤職員(月給) 1名

雇用期間／平成30年4月1日から平成31年3月31日まで(勤務状況に

より雇用期間を延長する場合があります)

業務内容／公民館施設の事業の企画運営
事務処理など

勤務時間／週4日 1日8時間、週32時間
間日中(午前8時30分から午後5時30分まで)又は夜間(午後0時30分から午後9時30分)。勤務日は所属長が指定する日。土曜日、日曜日勤務がありません)

要件 件／20歳から65歳までの方(70歳が非常勤の定年となります)

休息 日／月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)・所属長が指定する日

給与 与／月額156,200円

その他／通勤手当・社会保険・労災保険
申込方法／2月16日までに市販の履歴書(3ヶ月以内の顔写真が添付されているもの)を持参のうえ大代地区公民館窓口までお申し込みください。

採用については面接を行い、決定者には採用通知を送付いたします。面接などの日程は追って応募者に連絡いたします。

大代地区公民館 電話364・8442